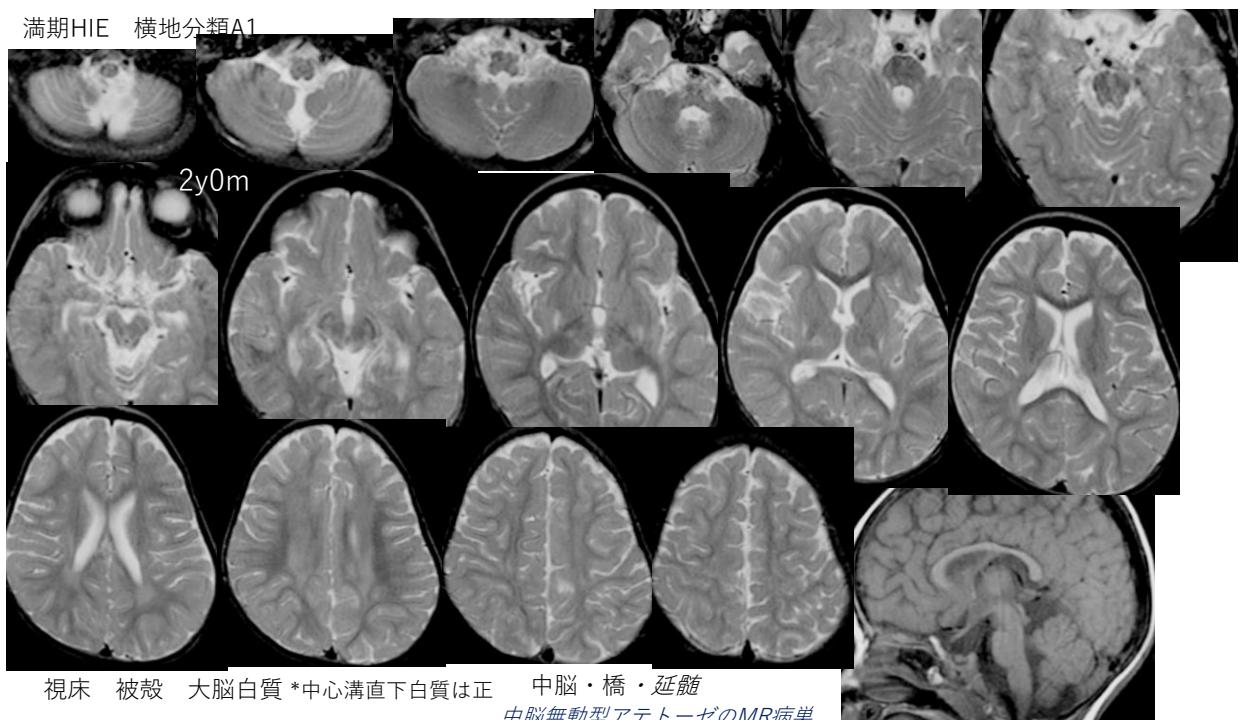


周生期脳障害の重度運動障害例

横地健治



1



2

1



・股屈曲過活動・股伸展荷重制限・共収縮制御障害・中脳性運動発現障害

3



4

2



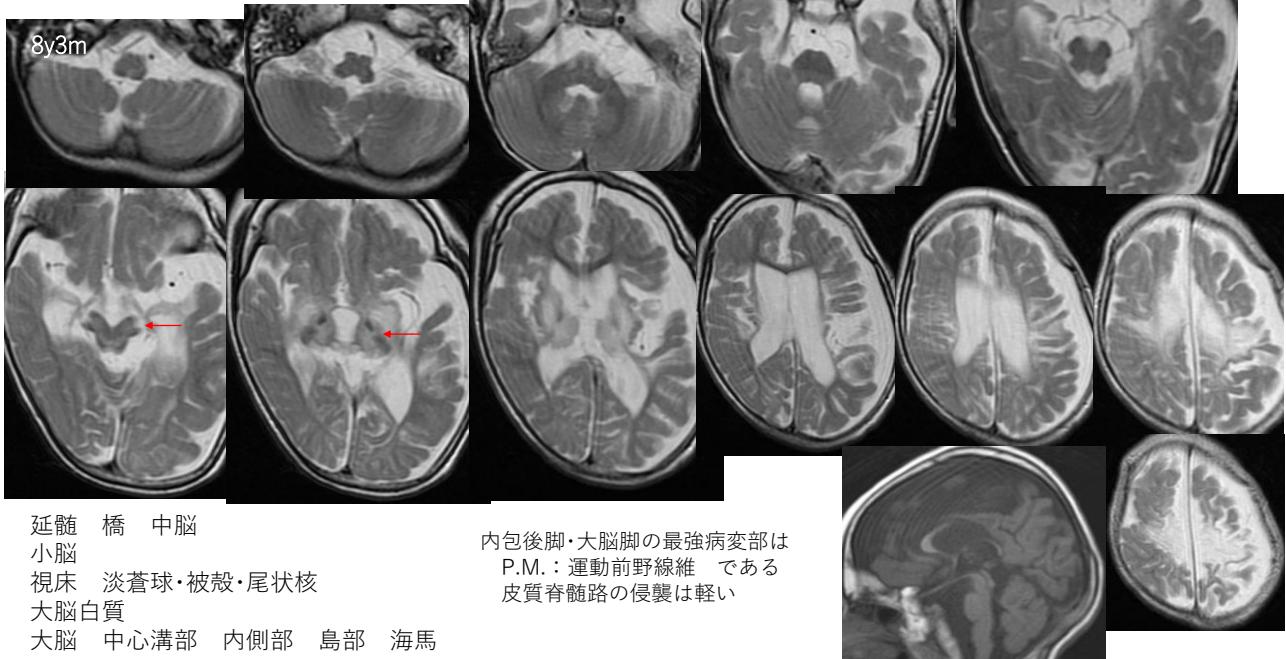
・腹臥位を好む 　・速い下肢屈伸



・股屈曲過活動 　・股伸展荷重制限 　・共収縮制御障害 　・中脳性運動発現障害

5

満期HIE 横地分類A1 発作的多呼吸あり



6

3



- ・股屈曲
- ・股外旋
- ・共同運動
- *股伸展域は広い (右はfull)
- ・腕は前に出ず、肩回旋
- ・頸後屈

- ・腹臥位で股屈曲強
- *膝荷重で瞬発的股屈曲



- ・股屈曲過活動
- ・股伸展荷重制限
- ・分離運動制限
- ・共収縮制御障害
- ・中脳性運動発現障害

股膝屈曲

7



- ・股膝屈曲が減り、伸展へ
*左は伸展不完全から完全に転換
- ・頸体幹伸展へ

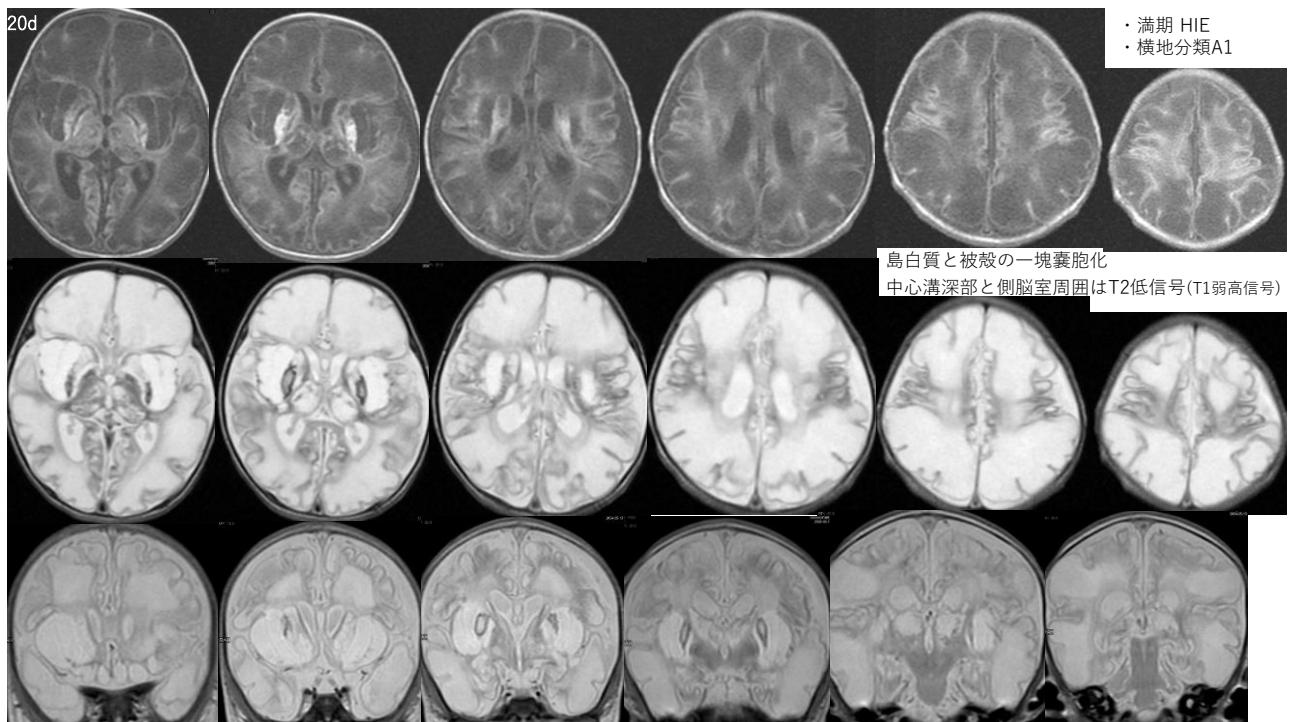
- 股伸展荷重制限の下肢体幹
伸展常時収縮状態の増強

8

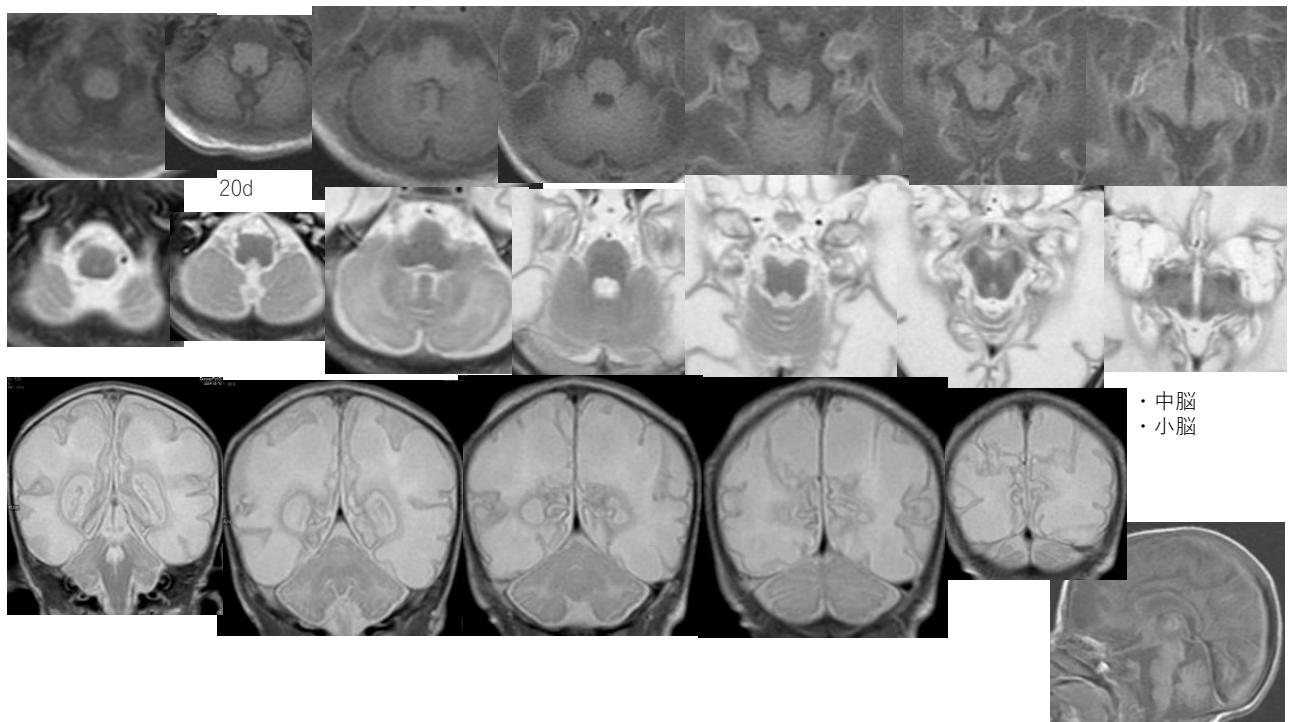
4



9



10



11

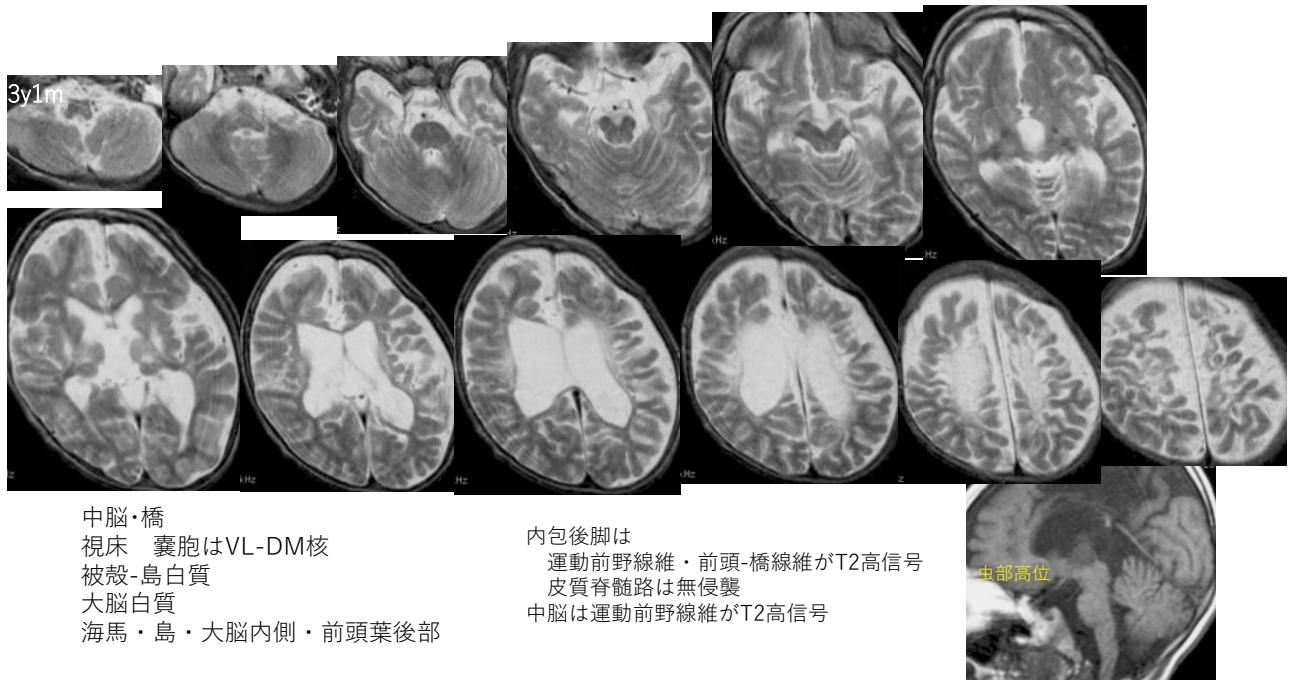


- ・もともと下肢無動
 - *股伸展荷重制限・中脳性運動発現障害が重度
 - *股屈曲過活動・分離運動制限もたぶんあり
- ・上肢屈曲位と伸展位の共存
 - *股屈曲過活動・股伸展荷重制限・中脳性運動発現障害・分離運動制限の常時筋収縮状態と共収縮制御障害による

- ・股屈曲過活動
- ・股伸展荷重制限
- ・分離運動制限
- ・共収縮制御障害
- ・中脳性運動発現障害

12

満期HIE 横地分類A1



13

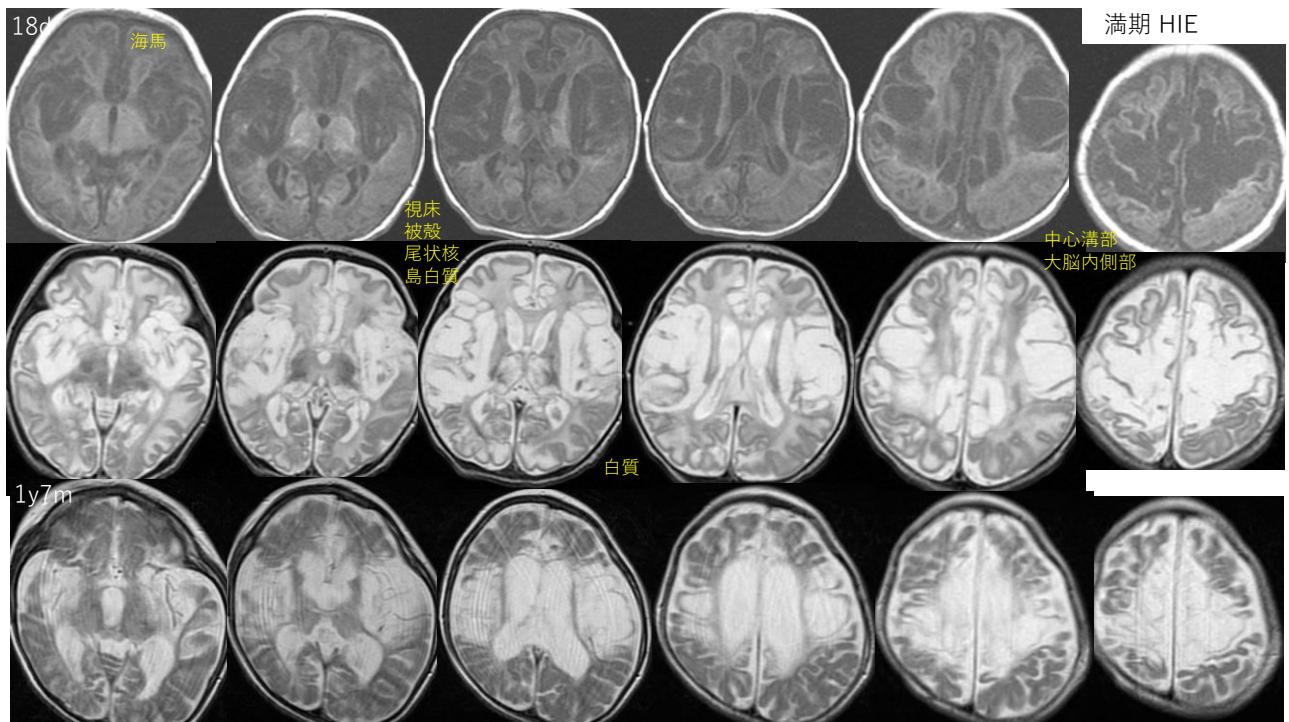


14

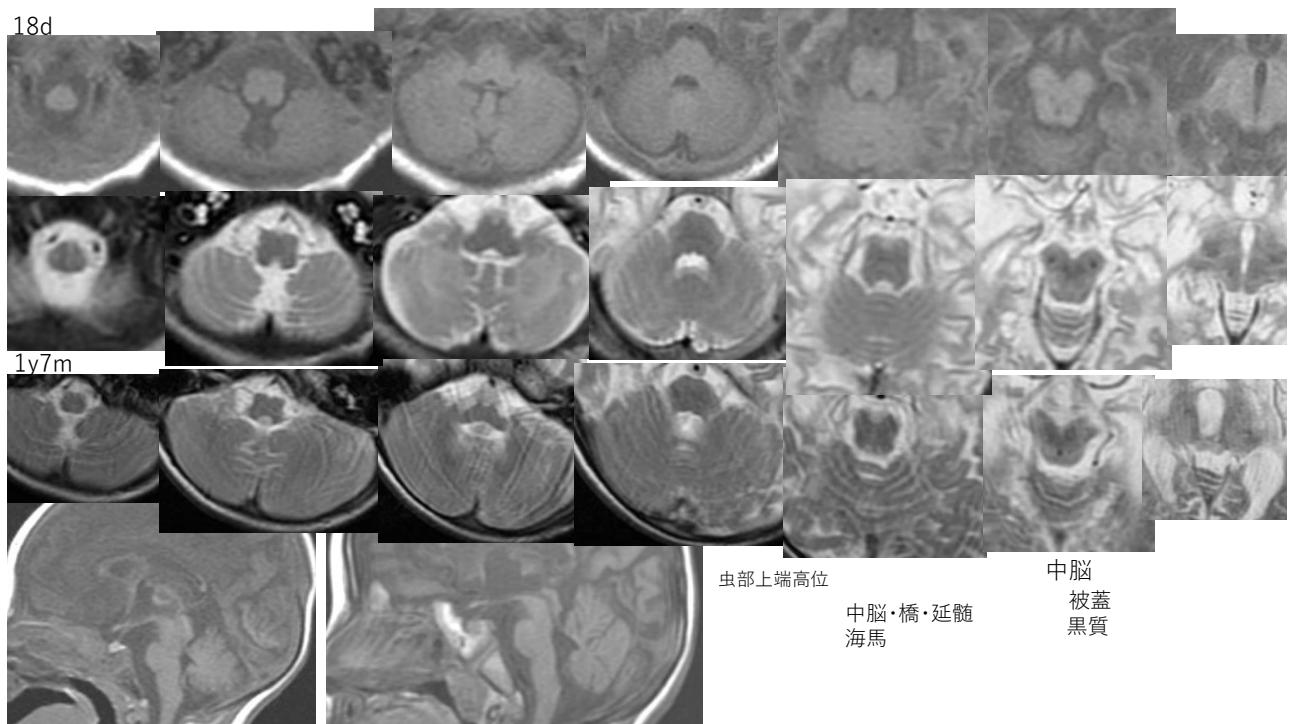


- ・股膝伸展位 *股は軽度屈曲位 *足は底屈位
*股伸展荷重制限・中脳性運動発現障害・分離運動制限による伸展常時筋収縮状態優勢の共収縮
- ・頸体幹伸展の増強
*股伸展荷重制限の伸展常時筋収縮状態優勢
- ・上肢伸展位 *手は掌屈位
*股伸展荷重制限・中脳性運動発現障害・分離運動制限・股屈曲過活動の常時筋収縮状態と共に収縮制御障害による

15



16



17



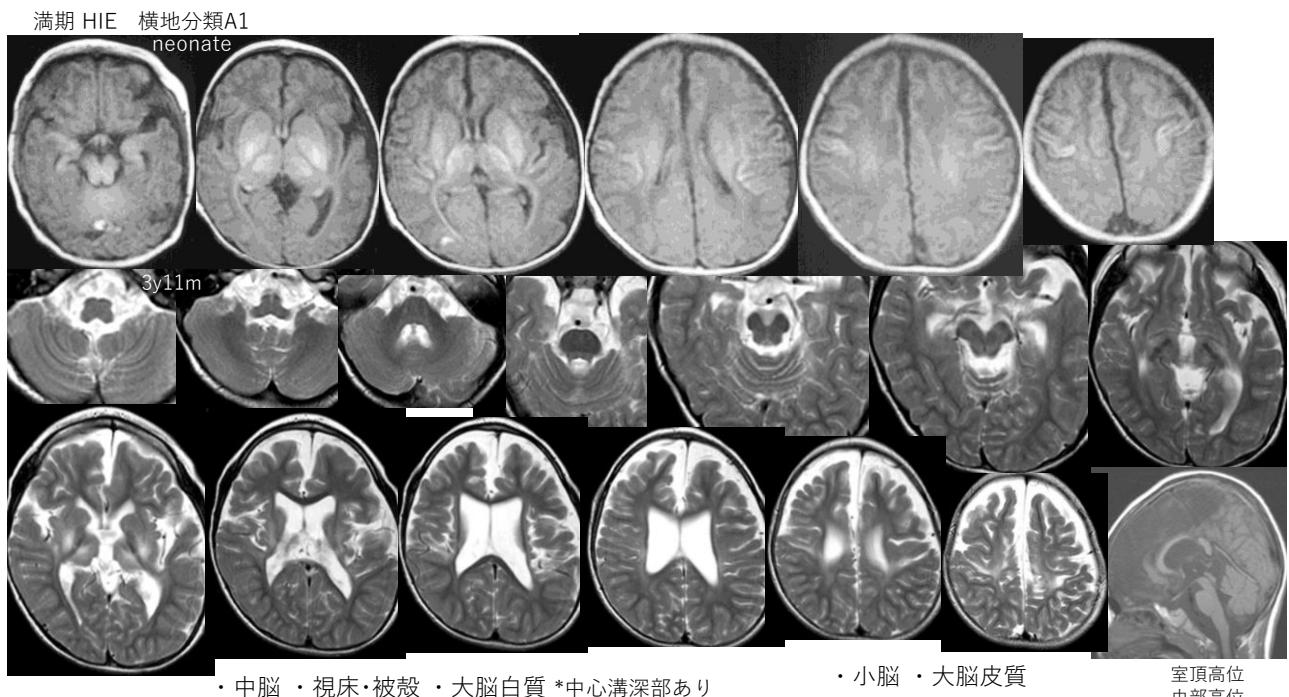
18



- ・股膝屈曲位 *足は底屈位・内反位
*股屈曲過活動・股伸展荷重制限・中脳性運動発現障害・分離運動制限による常時筋収縮状態優勢の共収縮
- ・上肢屈曲位が優勢
*股屈曲過活動・股伸展荷重制限・中脳性運動発現障害・分離運動制限の常時筋収縮状態と共に収縮制御障害による

股屈曲過活動の晚期優勢化

19



20

10



21



22



- 股膝伸展位と屈曲位の共存
 - *股伸展荷重制限・股屈曲過活動・分離運動制限あり
- 上肢屈曲位と伸展位の共存
 - *股屈曲過活動・股伸展荷重制限・分離運動制限の常時筋収縮状態による

股屈曲過活動の晚期優勢化

23

まとめ

- 従来、重度四肢機能障害を持つものは痙性四肢麻痺とされていた
- この症候は、股屈曲過活動・股伸展荷重制限・分離運動制限・共収縮制御障害・中脳性運動発現障害の合算として理解できる
- 視床・被殻・大脳白質病変の重度例では、たいてい中脳性運動発現障害を持つ
 - *中脳性運動発現障害は、屈曲常時筋収縮状態の脱力、あわせ伸展運動域の拡大としてみえる
- 外部型脳低血流障害(境界域梗塞)の症候は、股屈曲過活動・股伸展荷重制限・分離運動制限の合算である

24